

学生会だより

関東学生会の概要と 学生会の活動

関東学生会は東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬、山梨の全8ブロックから構成されており、47の会員校が参加している。2010年9月現在の学生会員数は808名であり、(社)日本機械学会内の各支部の学生会の中で規模が最も大きい。

学生会では年間を通し、3月に学生員卒業研究発表講演会、5月に第1回会員校会、秋から冬にかけて全体交流会・見学会を開催している。また、年3回、学生から話題提供するニュースレター、「JSME-dia」を発行している。

2010年5月に開催された会員校会では、会員校運営委員51名が集まり、2010年度の役員選出とJSME-dia担当ブロックの選出を行った。今年は委員長校として慶應義塾大学が選出され、奥田徳幸さんが委員長に選ばれた。会員校会後は懇親会を開催し、大学間で和気藹々と学生の交流があった。2011年1月には全体交流会・見学会として、日産自動車(株)追浜工場に見学に行った(図1)。工場見学では最新の電気自動車技術について知識を得、若手技術者の方の講演会では学生から活発な質疑があり、大変盛り上がった。その後、懇談会で若手技術者の方や学生同士の交流をはかった。また、2011年3月には慶應義塾大学で第50回学生員卒業研究発表講演会を開催する。

そのほか、各ブロックでは大学、高



図1 2011年1月全体交流会・見学会の様子



図2 2010年度メカメカフェアの様子

専を主体として、工場見学会や企業技術者との交流会、学生コンテストなどさまざまな活動が行われている。沢山の活動の中の一つを紹介する。

大学、高専の活動

各大学、高専では、小・中学生を含む方々に機械工学への興味を深めてもらうため、大学、高専の特徴を活かしたイベントを開催している。たとえば、群馬大学では毎年、「メカメカフェア」と題して、企業で開発された機械や、大学、高専の研究室で使われている実験装置や模型の展示や解説を行った。いろいろな機械(メカ)の仕組みや原理を実際に触ったり、動かしたり

体験することで理解してもらおうというイベントを開催している。毎年たくさんの方が訪れ、2010年度には1764名(中学生以下728名、大人1036名)の参加があった(図2)。

関東学生会では今後もこのような活動を通して、学生間の交流をはかり、また、誰でも機械について学べ、楽しめるイベントを開催していきたいと考えている。

(本記事はメカトップ関東29号掲載記事に加筆修正したものです。)
[筑波大学大学院 システム情報工学研究科 関東学生会担当幹事 金子 暁子]

東北学生会の活動 (東北学生会)

東北学生会は、10大学、6工業高等専門学校により運営されている。これらの会員校は、北は青森、南は福島まで南北500kmの広い範囲に分散している。地理的に頻りに会合を持ちにくい東北地域では委員長校（任期1年）の顧問教員が電子メールを使って全体の運営を取りまとめている。委員長校の顧問教員は7月にメール会議を開き、事業計画案、「メカライフの世界」展の企画案、予算案、各地区への予算配分案などについて各校の意見を聞き、承認後は各校に活動を委ね、3月に委員長校で開催される総会で事業報告が行われる。2009年度の総会は3月5日に秋田大手形キャンパスで開かれ、顧問教員と学生合わせて45名の出席があった（図1）。

東北学生会の最近の活動状況は以下の通りである。

1. 「メカライフの世界」展の実施

2010年度の「メカライフの世界」展は6校で実施された（表1）。小中学生の興味を引こうと、各校の担当者はいろいろと工夫を凝らしている。一関工業高等専門学校では学園祭において授業で設計製作した相撲ロボット（図2）を披露した。このほかにも赤外線線で動くロボットや迷路を走行するロボットなどを中学生向けのオープンキャンパスで展示し、機械工学の魅力をアピールしている。また、いわき明星大学では一般市民や学生に環境問題やエコカーに関心を持ってもらうため、製作したソーラ電気自動車（図3）の展示および試乗会を行った。さらにものづくりの面白さを伝えるために数値加工装置による加工の実演とワイヤ放電加工で製作した忍者形のプレートの配布も行った。

2. 学生交流会への出席

2010年9月7日に年次大会会場の名古屋工業大学で学生交流会が開かれた。その交流会に東北学生会からは

表1 東北学生会 2010年度「メカライフの世界」展

学校名	テーマ	開催日
八戸工業高等専門学校	まわってまわって機械工学科を知ろう	8月6, 7日
岩手大学	2010イーハトーブサイエンスワールド「メカライフの世界」展	10月23, 24日
一関工業高等専門学校	相撲ロボットコンテスト	10月30, 31日
鶴岡工業高等専門学校	親子で楽しむ科学の祭典	8月1日
いわき明星大学	楽しいメカワールド	10月23, 24日
仙台工業高等専門学校	スターリングエンジンを作って知る「エネルギーとは何か？」	10月23, 24日



図1 秋田大学で開催された総会
(3月5日)



図2 相撲ロボットコンテスト
(一関工業高等専門学校)



図3 製作したソーラ電気自動車の展示
(いわき明星大学)

委員長の新田佳祐君（岩手大学、M1）が参加した。東北学生会からただ一人の参加だったが、それだけに他の地域の学生との交流は新鮮だったようである。また、大企業で活躍する若手技術者との交流も刺激的で貴重な体験だったようである。学生交流会を企画運営された幹事の皆様に感謝申し上げます。

3. 機関誌『電子コンパス』の発行

東北学生会では1990年度から機関誌『電子コンパス』を毎年発行し、ホームページで公開している（<http://www.jsme.or.jp/th/student/compass>）。2009年度の『電子コンパス』には28件の寄稿文が掲載された。研究の話だけでなく、学生ならではの体験談がエッセイ風に綴られて

いる。ぜひ読んでいただきたい。

4. 東北学生会卒業研究発表講演会

東北学生会第40回学生員卒業研究発表講演会は2010年3月5日に秋田大学で開催された。発表件数は129件で、10教室を使って活発な議論が行われた。

東北学生会では卒業研究発表講演会で優れた研究発表をした学生に独創研究学生賞を授与している。2009年度は松尾祐矢君（秋田県立大学）、中平航太君（東北大学）、宿谷野々子さん（山形大学）の3名が受賞した。

次の東北学生会第41回学生員卒業研究発表講演会は2011年3月3日に岩手大で開催される予定である。
〔岩手大学 工学部機械システム工学科 教授 水野雅裕〕